

令和2年度 第1回 平塚市博物館協議会会議録

■ 開催日時 令和2年7月29日(水) 10時～11時30分

■ 開催場所 平塚市博物館 講堂

■ 会議出席者(敬称略)

会長 平井 晃

副会長 安室 知

委員 植田 育男、上間 則子、吉川 裕子、藤吉 敬子

事務局 平井社会教育部長、栗山館長、杉山館長代理(管理担当長)、
浜野館長代理(学芸担当長)

■ 傍聴者 0名

■ 会議の概要

1 開 会 平塚市博物館協議会委員任命状交付

吉野雅裕教育長挨拶

協議会委員自己紹介

職員紹介

会長、副会長の選任

2 議 事

(1) 報告事項等について

- ・ コロナウイルス感染症対応について

(2) 今後の事業計画について

(3) その他

- ・ 事務連絡等

3 閉 会

※ 閉会后、春期特別展の展示解説

■ 議事および質疑

議題(1) 報告事項等について

◆コロナウイルス感染症対応について(再開館までの経過)、管理部門を事務局杉山管理担当長、学芸部門を浜野学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 「おうちで楽しむ博物館」はとても楽しいコンテンツだが、もう少し動画があると楽しめる。これだけのコンテンツを揃えられるのは総合博物館のメリットと思うので、視聴回数を多くするためにはYouTubeなどを使った動画配信が良いのではないかと。"hirahaku"と書いたバナーをクリックすると天文の動画がYouTubeにつながるようになっているが、「おうちで楽しむ博物館」からはつながらないというかと"hirahaku"のバナーがすごく小さくでわかりづらいのが残念である。ここにはいろいろなコンテンツがあって、最近でいえば火球、空ですごく大きな火の玉が見られたという、それももう動画で上がっていたし、アップトゥデイトの話題もどん

どん出せる。YouTube は素人でも出せるコンテンツで、以前、国立歴史民俗博物館でプロの映像作家を使って民俗映像を作ったことがあるが、600 万円かかった。そんなことは普通もうできないので、学芸員自身がカメラを持って撮って、編集はある程度技術が必要かもしれないが、そんなに高い技術でなくても YouTube へどんどん上げていけば、天文だけでなくいろいろな分野、たとえば民俗芸能などを市内で撮ってくれば、家にいながらにして見られる。コロナウイルスのためだけではなく、博物館の動画がどんどん集積されるのではないか。また、企画展のフロアガイダンスの様子などを動画に上げれば、もっと博物館のホームページが機能してくるのではないか。ただ、あまり充実させると博物館へ来てくれなくなると困るので、調整しながら進めることになると思う。

委員 8月のプラネタリウムや星を見る会の案内は広報ひらつかで見られるのか

事務局 8月のプラネタリウム・星を見る会の情報は広報に出すタイミングが間に合わなかったので、ホームページ限定で募集をかけている。あなたと博物館に申し込みの情報は出すが、申し込み自体はホームページの web ホームでやっていただく形になっている。往復はがき等で申し込む方には申し訳ないが、夏休み期間ということもあり急きょ投影を再開することにしたので広報に間に合わなかった。9月以降は広報に載せる予定である。

委員 パソコンやホームページなどをサクサク使える年齢の人には良いのかもしれないが、そうでない年齢の人でも楽しみにしていられちゃう人があると思う。しかし、コロナ禍の中でこの状況は普通になりつつあるので仕方がないのだろう。

委員 お家で楽しむ博物館のコンテンツを皆様方は見られたか。私は残念ながら知らず、ここで初めて知った。

委員 私も今初めて知って閲覧した。塗り絵も細かく描かれていて素敵だった。生物の本物がどのような色をしているのかというのを見るには平塚の野鳥写真館を見ればよいのか。塗り絵と写真番号が対応していると探しやすくなるのではないか。

委員 私も拝見していなかった。新江ノ島水族館では、以前から Twitter を使って毎日情報発信をしている。それには専任の担当者が必ず 1 名ついている。ホームページコンテンツを拡充すると、専任の人が一人つくぐらいの大変さが出てくる可能性があるため、ある程度面白いことはできるのだろうけど、どこまでできるのか気になる。

事務局 専任の担当がいればもっとスムーズに進むのだが、学芸の業務の中で事務分担を行っており、ホームページ担当が一人いる。しかし、その者がホームページのすべてを作っているわけではなく、各学芸員が新しくつくったコンテンツをアップする手続きであるとか、トップ画面の変更などを担当者が行っている。ホームページに博物館日記というページがあり、毎日とはいかないが週に一回ぐらいのペースで更新していくことを目標に順番を決めている。そうでもしないと空白が長く開いてしまう。その程度の努力はしているが、週一ではペースが遅いのかなと感じている。

委員 自分の勤めている施設もやはり休館になり、同じように撮影等をして YouTube で動画の配信をした。その際、撮影のスタッフがいて、職員はコンテンツを提供するだけで編集もやってもら

ったので楽だったが、全部を学芸員の先生が行うとなると大変な作業だったと思う。拝見すると内容もかなり充実しているので、これをもっと広く知ってもらうための広報を努力することも大事ではないか。

委員 博物館が休館という状況のなかで、子ども達や一般の人に見てもらおうという活動は非常に良い。このような機会がたくさんあれば良い。

委員 再開されてからの来館者の状況はどんな感じなのか

事務局 通常は土日曜日で100人前後、平日だと2、30人という状況で、従来の3分の1程度である。人数は減っている状況である。

委員 では密になるという状況はとくにないか。

事務局 それほどの人数は来館しておらず閑散とした状況である。

委員 そのなかで子どもの割合はどれくらいか。

事務局 お子さんについても同じような形で減っている状況である。

事務局 入館者数の話で捕捉をすると、ワーキンググループの回数が通常は非常に多く、週に平均して3日ぐらいはどこかのグループが部屋を使っていた。毎週金曜日に40人程度が集まる古文書講読会などの会もあり、ワーキンググループの活動がすべて休止していることも入館者数に大きな影響が出ている。また、プラネタリウムの休止も大きく影響している。

委員 ワーキンググループの活動がないと来館者数が減るし、平塚市博物館の売りであるプラネタリウムがないのも大きいのであろう。その分、ホームページなどで多く発信してもらえれば良いと思う。

委員 ホームページのコンテンツに関して、視聴者からコメントが来ることはあるか。

事務局 学芸員の中でもホームページについていろいろやり取りはしているが、具体的にはあまり上がってきていない。

委員 今後一方通行な情報発信だけではなく、双方向になるような考えは何かあるか。

事務局 視聴者のニーズや反応をとらえたいという思いは強くあるが、具体的にどういう方向でやっていこうかというところまで話は進んでいない。

委員 夏休みに「子ども科学電話相談」というのがあり、とても楽しく聴いている。身近な所でそういうものがあると嬉しい。これから双方向でやりとりができるように進んでいくと良い。

委員 何か意見を書くフォームなどはないのか。

事務局 それはまだ作っていない。開発中である。

事務局 ホームページのコンテンツを充実させていこうというのは、コロナウイルスで休館になる前には力を入れていなかった。それはホームページのコンテンツに力を入れすぎると博物館に来てくれなくなってしまうからである。ただ、実際に休館しているときにも博物館の資料や情報を使っていただきたいし、ステイホームと言われて家にいる時間が長くなって、現地に行くとか実際に人と会うことの大切さにみんなが気づき始めたという雰囲気も感じたので、ホームページのコンテンツを充実させていく方針を固めた。

双方向のやり取りは今まであまりやっていなかった。実際に来てほしいという思いが先にあつ

た。動画は天文担当が技術的に多くを背負っている。

プラタリウムの申込について8月はホームページから受付けることにしたが、そのフォーム自体もまだ開発中である。フォームの中でリクエストを募集するのも初めての取り組みである。元来プラネタリウムではプラネタリウム室の前でアンケートを記入してもらい、ボックスに入れてもらっていたが、滞留したり鉛筆を持ったりというのは避けた方が良いので、ホームページ上でQRコードからアンケートのところへ飛んで行って、パソコン上でアンケートに答えてもらうフォームを今開発中である。これがうまくいけば日常的にホームページ上で意見をいただくページもできると考えている。

委員 博物館を調査などで利用するとき、ホームページに意見や希望を述べる欄があって、それを出してから博物館に行くことがあるが、返ってくるのは半分ぐらい。だからもし双方向の意見を調整するようなものをホームページに載せるのであれば、日常的にきちんと管理しないとかえって悪い印象を与えてしまう。たいていの場合、事務員がそれを受けて各学芸員に回して連絡が帰ってくるのが多いパターンで、返ってくれば調査へ行くときに役立つ情報をいただけるが、今までの経験でいうと残念ながら半分ぐらいしか返ってこない。だからきちんとレスポンスができる職員体制を作ってからの方が良い。

事務局 日常的にオープンにしているなんでも言ってくださいというのでは、リアルタイムでリアクションできないかもしれないので、プラネタリウムの感想とかテーマを絞ったところからスタートするようになって考えている。

委員 1週間とか10日など期間を決めてまとめるのが良いだろう。

議題（2）令和2年度予定について

◆今後の事業計画等について事務局浜野学芸担当長が説明資料により説明。

委員 今までと勝手が違って大変と思うが、自分も博物館の催しものに参加していたので残念である。申し込みについてはメールのほかに往復はがきも良いと思うが、これについては広報にも出るのか。

事務局 広報に掲載する。

委員 会員制行事は個人の会長のところに集まるということではなく、博物館を拠点に集まる体制なのか。そうすると博物館が再開されないと活動自体が休止状態になるということなのか。市民の研究活動は重要であり、それを博物館がバックアップしているということなので、何とか続けてほしい。とくに民俗はこれだけ多くを世話するのはたいへんと思うが、大きな仕事だと思う。

事務局 ワーキンググループの活動は会員の皆さんの調査研究が会の中だけで終わってしまうのではなく、博物館の調査研究活動にも密接に結びついており、学芸員だけで地域研究をしているわけではなく市民の皆さんを交えて進めてきたので、博物館にとってもワーキンググループの活動ができないことは痛手になっている。

委員 集まって活動することそのものが難しい。外で活動するにしても。

事務局 外で活動するにしても、観察会などで歩いている姿を現在そもそも見かけないので、人数はかなり限定しないといけないと考えている。

委員 とくに聞き書きの会は、相手の方がお年寄りが多いから訪ねていけない状況であり、民俗は調査ができない状況になっている。

委員 会員の皆さんはそれぞれ活動したくてウズウズしてるんじゃないか。

事務局 再開に向けては会員の方々の意志確認も取りながら進めている。とくに展示解説ボランティアの皆さんは早く始めたいというやる気に満ちているのだが、実際の展示解説はできない中で、月に一遍集まって情報交換とよもやま話だけは続けてほしいということで、さっそく8月1日から再開している。

議題（3）その他

◆次回の協議会は令和2年11月19日（木）に開催することとした。

◆会期終了後、塚田学芸員が春期特別展の展示解説を行った。

配 布 資 料

令和2年度 第1回平塚市博物館協議会 次第

令和2年7月29日（水）午前10時
平塚市博物館講堂

1 開会

会長、副会長の選任

2 議事

- (1) 報告事項等について
 - ・ コロナウイルス感染症対応について
- (2) 今後の事業計画等について
- (3) その他
 - ・ 事務連絡等

3 閉会

※閉会后春期特別展の展示解説を行います。

以上

新型コロナウイルス感染症対応について(再開館までの経過)

- 2月26日(水) 第1回新型コロナウイルス感染症対策本部からの「新型コロナウイルス感染症のまんえん防止に係る平塚市の取組み方針」の市及び関連団体主催のイベント等の原則中止の発出
- 2月27日(木) 展示解説やワーキンググループ等の事業の中止及びプラネタリウム投影の投影中止を決定
- 2月28日(金) 第2回新型コロナウイルス感染症対策本部にて、図書館・博物館・美術館を3月2日(月)から3月15日(日)まで臨時休館と決定
(市内小中学校3月2日から3月25日まで臨時休校)
- 3月3日(火) 臨時休館開始(3月2日(月)は通常の休館日)
- 3月12日(木) 第6回新型コロナウイルス感染症対策本部において、3月31日(火)まで臨時休館を延長と決定
- 4月1日(水) 博物館再開(展示解説、ワーキンググループ等の事業及びプラネタリウム投影の中止)
- 4月4日(土)
5日(日) 土日については、3密防止の観点から市の方針により臨時休館
- 4月7日(火) 緊急事態宣言が神奈川を含む7都府県に発令される
5月6日(水)まで外出自粛の要請
- 4月8日(水) 第9回新型コロナウイルス感染症対策本部にて、公共施設等の閉鎖を決定
- 4月9日(木) 博物館臨時休館
- 5月4日(月) 緊急事態宣言が5月31日まで延長

- 5月6日(水) 第12回新型コロナウイルス感染症対策本部にて、休館を5月31日まで延長を決定
- 5月25日(月) 緊急事態宣言が解除される
- 5月26日(火) 第13回新型コロナウイルス感染症対策本部にて、順次、感染防止対策の準備ができた施設から再開と決定
- 5月27日(水) 第1回博物館協議会開催延期
- 6月9日(火)～
6月19日(金) 燻蒸休館期間
- 6月20日(土) 博物館再開
(図書館6月2日(火)、美術館、地区公民館6月16日(火)、中央公民館7月1日(水)より再開)

再開館における感染防止対策

日本博物館協会及び神奈川県立博物館作成の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」を参考に以下の対策を実施

- ①手指の消毒薬の設置
- ②定期的な館内消毒の実施
- ③マスクの着用をお願い
- ④換気の実施（出入口の開放、展示室内での扇風機稼働）
- ⑤体温計の配備
- ⑥受付への飛沫防止シートの設置
- ⑦展示室へのソーシャルディスタンスサインの掲示
- ⑧会議室、講堂の最大利用人数の制限
- ⑨接触型展示の休止
- ⑩展示室内の椅子の撤去
- ⑪展示解説の中止
- ⑫LINE コロナお知らせシステムへの登録
- ⑬神奈川県感染防止対策取組書の掲示
- ⑭ホームページによる対策の周知

コロナウイルス感染症対応について（学芸部門）

1. ホームページコンテンツの拡充

4月16日から、こども向けページ「おうちで楽しむはくぶつかん」を新設

【生物】いろいろ生き物（平塚の野鳥写真館・ぬりえ de 自然観察）（47回更新）

【天文】おうちでプラネタリウム（3回更新）、ものづくりエイター（3回更新）

【歴史】写真でみるむかしの平塚（8回更新）

【民俗】あおいちゃんの昔の暮らし調べ（8回更新）

【地質】ふしぎなミニ博物館（3回更新）、平塚周辺の大地のかたち（2回更新）

【考古】縄文時代の暮らし／縄文から弥生へ（7回更新）、古墳の出現（3回更新）

以上、合計84回更新（7/19時点）

・アクセス数の比較（5/31現在）

35,345件のアクセスがあり、一日平均でみると4/1～4/15の650件に対し、公開後は768件と増加している。

・ユーチューブ登録者数の比較（5/31現在）

YouTubeチャンネル「おうちでプラネタリウム」の視聴回数は9,710回に達し、一日平均の視聴回数は4/1～4/15の22件に対し、公開後に198件と大幅に増加している。また、YouTubeチャンネル登録者265名のうち、過半数の164名が公開後の新規登録者である。

2. 展示

（1）常設展示室の感染対策

- ・接触型展示の休止：押しボタン、タッチパネル、マウス、取っ手等をパネル等で被覆
- ・机とイスを撤去
- ・「展示物に手を触れない」「ソーシャルディスタンスの確保」等の注意喚起
- ・展示解説ボランティアの休止

（2）特別展示・寄贈品コーナーのテーマ変更

- ・春期特別展「空を見上げよう」を6/20から8/30まで延長して開催。
- ・夏期特別展「平塚空襲ーその時、それまで、その後ー」は中止、令和3年度夏に順延予定
- ・寄贈品コーナーの展示テーマを変更（3テーマを中止）

3. プラネタリウム

(1) 幼児投影と学習投影

予約受付延期

(2) 一般投影

○8月の投影

- ・投影日：8月8日～23日の水・木・土・日曜日。以降は土・日曜日に投影
- ・投影時間：14時～14時40分
- ・観覧申込：ホームページのウェブフォームから完全予約制
先着順で5組（1組最大5名）まで
- ・観覧者配置：1列1組限定
- ・感染防止対策：観覧者への検温、マスク着用・手指消毒の義務化、座席の消毒、換気
- ・投影内容：事前リクエストにも応えたフリートーク
- ・『銀河』：8月は庁内印刷で簡易版を配布

○9月以降の投影

- ・投影日時：土日曜日の14時～14時40分
- ・当日受付：当日9時から発券。定員16名

(3) 特別投影・プラネタリウムイベント

当面休止

4. 行事

(1) 休館中

- ・全行事を中止

(2) 再開館後

- ・自由参加制行事：当面中止 or 申込制へ変更
- ・申込制行事：8月13・20日の星を見る会から再開
9月以降は概ね当初計画通り実施予定
- ・ワーキンググループ活動：7月から順次再開
- * 会場の人数制限：講堂 60→30名 科学教室 30→15名 特別研究室 20→8名
- * 自由参加制行事を事前申込制に変更

5. その他

- ・博物館実習：予定通り実施 9月2日（水）～10日（木）

おうちで楽しむ

はくぶつかん

家にもみなさんが楽しめるように、このページを作りました！
ちかくの生き物から昔のできごと、そしてうちゅうまで！
わたしたちのまわりには“ふしぎ”がたくさんあるのです。

★ 更新情報 ★

- ・2020/7/12 平塚周辺の大地のかたち「[断崖地形と地蔵](#)」
- ・2020/7/10 古墳の出現「[文字で残された歴史?](#)」
- ・2020/6/27 いろいろ生き物「[平塚の野鳥写真館](#)」
- ・2020/6/27 いろいろ生き物「[ぬりえde自然観察](#)」
- ・2020/6/23 写真でみるわかしの平塚「[第8回 戦後平塚市の発展 昭和20年代\(1945~1955\)](#)」
- ・2020/6/18 ものづくりエイター「[「トイレットペーパー」の芯で太陽望遠鏡を作ろう!](#)」
- ・2020/5/28 平塚周辺の大地のかたち<NEW>
- ・2020/5/22 あおいちゃんの昔の暮らし調べ「[「暮らしの中の水」](#)」
- ・2020/5/20 おうちでプラネタリウム「[「5月下旬の天文現象」](#)」



いろいろ生き物



おうちでプラネタリウム



写真でみるわかしの平塚



あおいちゃんの昔の暮らし調べ



ふしぎなミニ博物館



縄文時代の暮らし／縄文から弥生へ



はくぶつかんたんけん



刊行物案内



古墳の出現



平塚周辺の大地のかたち



ものづくりエイター

展 示

は中止した催し

特別展	春期特別展 「空を見上げよう 光と色の不思議」	2020	4月 1日	～	8月 30日
	夏期特別展 「平塚空襲 -その時、それまで、その後-」		7月 11日	～	8月 30日
	秋期特別展 「よみがえる少年の日々 -佐草健ボールペン画展-」		10月 3日	～	11月 29日
	第21回博物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演- 2021		2月	～	2月
	春期特別展 「月の地形(仮称)」		3月	～	5月

寄贈品 コーナー	自然系 「新着資料展1-自然分野-」	2020	4月 1日	～	7月 12日
	生物 「バードカービング」		6月 13日	～	7月 19日
	地質 「神奈川の鉱物」		7月 23日	～	8月 16日
	考古 「平塚の遺跡-近年の発掘調査成果-」		8月 20日	～	9月 2日
	歴史 「平塚空襲」		7月 16日	～	9月 2日
	全体 博物館実習生制作展示		9月 11日	～	9月 29日
	天文 「系外惑星25年」		10月 3日	～	11月 3日
	歴史民俗「新着資料展2-人文分野-」		11月 6日	～	12月 6日
	歴史 「村絵図展」		12月 10日	～	1月 17日
	民俗 「てぬぐい・うちわ・マッチにみる平塚の商店」	2021	1月 21日	～	2月 23日
	考古 「鎌倉武士の足跡をたどる」		2月 26日	～	3月 28日

情報 コーナー	地質天文 ポスト特別展「賢治が見つめた石と星」	2020	4月 1日	～	8月 30日
	地質 「ミニジェラシックワールドin平塚」(仮)		7月 18日	～	8月 30日
	天文 ポスト特別展「空を見上げよう 光と色の不思議」		9月 5日	～	未定

プラネタリウム

一般投影	一般向け投影 「ハッブル宇宙望遠鏡30年」	2020	4月 11日	～	6月 7日
	幼児向け投影 「タケルくん どうしてひるとよるがあるの？」		5月 9日	～	7月 11日
	一般向け投影 「太陽と星の動き」		6月 13日	～	7月 12日
	一般向け投影 「惑星たちのオリンピック」		7月 18日	～	8月 30日
	一般向け投影 「宇宙へ行った日本人」		9月 5日	～	11月 1日
	一般向け投影 「フリートークプログラム」		8月 8日	～	12月 20日
	一般向け投影 「2021年の天文現象」	2021	1月 6日	～	1月 31日
	一般向け投影 (内容未定)		2月 6日	～	3月 29日
特別投影	「星空散歩」(月1回)	2020	毎月1回		
	「星空音楽館」(年4回)		5/17 8/23 11/15 2/21		
	「星よりも、遠くへ」	2021	3月 13日	・	3月 14日

各種普及行事

自由参加 行事	全分野	博物館こどもフェスタ2020	2020 5月 6日
	民俗	年中行事のはなし(3回)	2020 8月2日 11月22日 2月28日
	地質	恐竜ペーパークラフトづくり	2020 8月 1日 ・ 8月 23日
		鉱物講演会	2020 8月 9日
	天文	体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」	2020 7月 31日
	全分野	イブニング・ミュージアム・ウィーク[夏]	2020 8月
イブニング・ミュージアム・ウィーク[秋]		2020 10月 or 11月	

申込制 行事	考古	体験学習「縄文人になろう」	2020 8月
		考古学入門講座(3回)	2020 10/17 11/28 12/12
		博物館長の歴史放談(8→6回)	2020 10/24 11/21 12/19 1/30 2/27 3/27
	歴史	平塚郷土史入門講座(3回)	2021 1月24日 2月21日 3月21日
	民俗	野仏をめぐる小さな旅	2020 11月 8日
		体験学習「お飾りをつくろう」	2020 12月 20日
	地質	体験学習「化石レプリカづくり」	2020 8月 12日
		相模川流域ジオツアー入門(3→2回)	2020 9月 26日 11月 29日
	生物	自然教室(6→3回)	2020 10月17日 11月28日 3月6日
		きのこの観察会	2020 10月 15日
	天文	体験学習「体験！宇宙飛行士選抜試験」	2020 8月
		星を見る会(11→7回)	2020 8月 ~ 3月
		天文学入門講座(6回)	2020 10/24 11/21 12/19 1/16 2/13 3/13
		最新天文学講座(1回)	2020 9月 20日
	全分野	平塚学入門(3回)	2020 9/27 10/4 10/11

会員制 行事	考古	古代生活実験室(8月再開)／東国史跡踏査団(8月再開)／平塚の古代を学ぶ会(8月再開)
	歴史	古文書講読会(当面休止)／地域史研究ゼミ(9月再開)／平塚の空襲と戦災を記録する会(8月再開)／裏打ちの会(8月再開)
	民俗	民俗探訪会(10月再開)／石仏を調べる会(7月再開)／聞き書きの会(メールで開催)／祭りばやし研究会(10月再開)
	地質	地球科学野外ゼミ(8月再開)
	生物	生き物ズームプロジェクト(8月再開)
	天文	天体観察会(8月再開)
	展示	展示解説ボランティアの会(7月再開)

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2020 6月 9日 ~ 6月 19日
博物館実習	2020 9月 2日 ~ 9月 10日

令和2年度平塚市博物館秋期特別展 企画案

題名：秋期特別展「よみがえる少年の日々－佐草健ボールペン画展－」

期間：令和2年10月3日（土）～11月29日（日）

会場：平塚市博物館特別展示室

主旨：平塚市中原にお住まいだった佐草健氏（大正15年～平成29年）は、昭和初期における中原の景観、子どもたちの遊びや暮らしの営みなど、自身の少年時代を思い出して描いたボールペン画を約70枚遺された。カメラが一般に普及していなかった時代の日常生活を生き生きと描いたその作品は、当時の暮らしのありさまを具体的にうかがうことができる稀少な資料ともいえる。本特別展では、佐草氏製作のボールペン画や紙粘土の模型を展示し、作品を通して昭和初期の中原の景観と暮らしを紹介するとともに、記憶を形に残すことの大切さを伝えていきたい。

構成：1. 絵でよみがえる少年の日々

- ①大野っ原 ②中原の景観 ③子どもたちの遊び ④人々の営み ⑤村を訪れる人々
- ⑥お祭りと縁日 ⑦戦争の足音

2. 模型でよみがえる少年の日々 3. 佐草健さん 一人と作品－

資料：佐草健氏の作品（佐草功氏より借用）

- ・昭和初期頃の思い出を描いたボールペン画 約70点
- ・紙粘土で製作した昭和初期頃の遊びやお祭りの模型 6点
- ・五月節句人形 2点
- ・五月節句の武者幟 1点
- ・干支絵の年賀状
- ・十三仏などの仏画
- ・スケッチ等の水彩画
- ・日枝神社に飾られた大凧の下絵

佐草健氏の遺品（佐草功氏より借用）：愛用の画材道具など

佐草健氏の写真（佐草功氏より借用）

中原の古写真など（上宿町内会より借用）：山車5台が境内に整列したお祭りの写真など

撮影写真：中原日枝神社に奉納された絵、描かれた風景の現況写真など

描かれた民具と同種の館蔵資料

行事：作品解説1－佐草さんのイラストにみる昭和初期の中原

10月31日（土）10時30分～12時 講堂 申込制（定員30名）

作品解説2－イラストと聞き書きの相乗効果

11月22日（日）10時30分～12時 講堂 申込制（定員30名）

印刷物：ポスターB2判150部・B3判150部、リーフレットA4判両面3,000部、

図録A4横判96頁1,200部

その他：新型コロナウイルスの感染状況により、順延または中止の場合あり。

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 平塚市博物館

担当：浜野達也

電話 0463-33-5111 Fax 0463-31-3949

e-mail : hamano-t@city.hiratsuka.kanagawa.jp